

from the good Earth

よいちだより「良い地より」

 vol. 15
 2016.5

Der Mai ist gekommen.

(May has come. 5月が来た)

こんな名の唱歌があり、ドイツ人なら誰でも知っているのですが、かつて私が3年滞在した南ドイツに於いては、5月といえば初夏の様相でした。手許にあるヘルマン・ヘッセの「庭仕事の愉しみ」という本の中にも、桃の花の満開を讃える詩が載っていて、これも何やら初夏の香りがします。北海道と同じ気候帯でありながら、ドイツ人の感覚では寒さのピークが過ぎて陽足も長くなり始める3月下旬がもう春、そして緑の出揃う5月は夏の初めということになるのでしょうか。

さて、そんなドイツではこの4月末にかなりの雪が降り、農作業にも影響が出たと彼の地の友人からメールが届きました。そして我が余市も変テコリンな天気です。雨の多い、寒暖を繰り返した4月の気候のせい、5月になってもぶどうの芽が本格始動しないのです。果してこの秋の実りはどうなることやら…とは考えないことにしています。天命というが大袈裟ですが、どうせ人智の及ばないことですし、何よりそれ故にワインは毎年味が違うのですから。かつてドイツのワイン学校での先生の言葉が思い出されます。「毎度味の違うのがワイン。毎年異なった味にならなければワインではない。」なんと大胆な。ワイン作りの真骨頂がこの言葉にあるようで、とても意味深長です。そして肩の力がすうっと抜ける思いがします。

苗植え、そして幾つものワイナリーが

この5月6月に合計約2万本の接(つ)ぎ木苗を定植します。OcciGabi Wineryと協力関係にある4軒の新規ワイナリー開設予定者の畑に、全員の共同作業で植えていくのです。同時に彼らはそれぞれ独自のデザインで庭や建て物を作り上げていきます。私共が彼らを手伝い、彼らも私共を手伝って、お互い見栄えも中身も素晴らしいワイナリーにしていこうとしています。先発の私達は他の人達のお手本になるようにしなければなりませんから、これらの仕事には自然と力が入ります。

同じことを何度も繰り返す述べますが、昨年末施行の新しいワインの法律ゆえ、真のワイナリーゾーンにはワインぶどう

の広大な畑が必要です。そしてその可能性を日本一持っているところが余市町なのです。

そうであるのならば、一軒一軒とこれから作られるワイナリーは、その思想に於いて或るレベル以上のものを目指すべきなのです。世界中の新興のワイン地帯が皆そうしているようにです。先進地である欧米のワイナリーゾーンから多くのことを学ぶ。そうしてこそ、この余市が一級のワイナリーゾーンとなるのです。

釧路を訪ねて

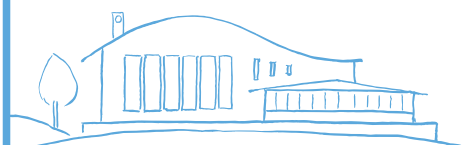
中小企業家同友会・釧根(せんこん)支部農業部会のお招きで、4月初旬釧路に趣きました。私が余市の近未来を思い描きながら講演するのを熱心に聴いて下さったのは、浜中町の石橋氏はじめ高付加価値型農業実践の先輩であられる酪農家の方々が多く、二次会での会話も盛り上がりました。確かに私共の「余市川ワインバレー構想」も常に順風満帆という訳には参りませんが、石橋氏やそのお仲間の方々の「来し方」は想像を絶するものだったようで、逆にこちらが勇気付けられました。久方振りに眼のキラキラ光る人々にお会いした感じがしましたが、己れの力で確かな農収を上げている農業者の方々というのは、本当に常日頃からひと味もふた味も違う議論をしているのだなと痛感しました。



非営利事業としての記念コンサート開催

OcciGabi Wineryのオープン3周年は、この6月25日(土)夕方に余市町の中心にある中央公民館を借り切ったのコンサートで祝うこととなりました。収容人数650名ですので思い切り低価格で行います。

そもそもは、経済低迷・人口減少で活気のなくなった町を盛り上げようという意図で、平均2ヶ月に1回のコンサートを私



共ワイナリーの建て物で企画していましたが、今回は趣向を変えて「新旧世代の融合」をテーマとしました。60才以上の方々の人口が半数を超えて、総務省の言う「限界集落化」している現状の暗雲を吹き飛ばすべく、かつての余市町黄金時代を支えた60代以上の世代と、これからこの町を盛り上げるべく活躍が期待される若い世代の両者が楽しめるコンサートを、と考えました。30代、40代、50代も勿論若い世代です。

映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」を覚えてらっしゃいますか。両親は夢も希望もなく、子供達もつまらない日常を送っている家庭が舞台でした。ひょんなことから息子にあたる主人公がタイムマシンで遡り、辿り着いたのは両親の青春期の時代。ニール・セダカやチャック・ベリー等ロックンローラーが活躍する時代です。迷い込んだ主人公もその時代の熱気に酔い痴れ溺れるうちに、ちょっとイタズラをして自分の将来の両親になる若いカップルを激刺たる二人に変えて、再びタイムマシンで現代に帰り来る…。そうです、自分の家庭や環境が丸きり変わって素晴らしいものになっているという結末

です。この映画の題名の意味は深く、過去にこそ将来躍進のヒントはあるということなのでしょう。温故知新でしょうか。

こんなことを夢見て、現在の60代以上の世代が余市全盛期に夢中だったバンドはと考えました。そうです、The Beatlesです。思い切って、一番若い世代の現在の中・高校生は無料でご招待することにしました。そして身障者の方々も。何を思い切ってかと申しますと、以上の方々の総数が余市町だけで約1000人いらっしゃるということ。もし入りきらなかったらどうしよう、という訳です。

一般の方々(60代以上の方々も)すべて特別料金のお一人様1500円です。基本的には余市在住の方に限るつもりですが、この会報をお読みの方々はTELまたはMAILでのご予約も承ります。



とにかく、老いも若きも元気にやりましょう。

落 希一郎

INFORMATION

OcciGabi Winery,
Open3周年記念

老いも若きも皆集まれコンサート

Michelle “The Beatlesの思い出”

期日 2016年6月25日(土) 午後6時開演(5時半開場)

場所 余市町中央公民館大ホール(余市町大川町4丁目143) 料金 1,500円(中高生・障がい者無料)

主催 OcciGabi Winery



- | | | |
|------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|
| 2016年5月28日(土)
18:00~20:00 | 小樽アンディアーモ様で
(小樽市稲穂2-16-11) | ワイン会 ●お一人様8,000円(税別) |
| 2016年6月11日(土)
15:00~17:00 | Garden Party | ●お一人様3,500円(税別)
(余市駅から送迎) |
| 2016年7月23日(土)
15:00~17:00 | 石川尚美先生のチーズ講座 | ●お一人様2,500円(税別) |
| 2016年8月6日(土)
15:00~17:00 | Garden Party | ●お一人様3,500円(税別)
(余市駅から送迎) |
| 2016年8月20日(土)
17:00~20:00 | 2014/2015
ワイン飲み比べ | ワイン会 ●お一人様12,000円(税別)
(余市駅から送迎) |

※すべてのワイン会はご予約制です。お電話又はメールにてご予約承ります。

お中元用ギフトセット販売!!

ネットショッピングサイトBase
<http://occigabi.theshop.jp>

オチガビホームページ
<http://www.occigabi.net>



お問い合わせ
ご予約



株式会社 OcciGabi 〒046-0012 北海道余市町山田町 635

tel.0135-48-6163 / fax.0135-48-6164

携帯:090-6198-5501

E-mail occigabi@ae.auone-net.jp